

CO・OP

京都の生協

2018/August/No. 96
京都府生活協同組合連合会



映画を観ることは、知らない世界=文化を経験すること
——映画館で味わう「映画を観る」豊かさ——

TalkTalk トークとーく

制作・配給・劇場「出町座」 支配人

京都府生活協同組合連合会 会長理事

たなかせいいち
かみかけとしひる
上掛利博

対談

TalkTalk トークとーく



映画を観ることは、知らない世界＝文化を経験すること — 映画館で味わう「映画を観る」豊かさ —

制作・配給・劇場「出町座」支配人
京都府生活協同組合連合会 会長理事
(京都府立大学公共政策学部教授)

田中誠一さん
上掛利博

映画館のシートに身を沈めて、携帯電話の音源を切り、大きなスクリーンに描かれる、不条理な世界やつつましやかな暮らし、苦い思いや小さな喜びを味わう。偶然そこに居合わせた人びとと一緒に涙をこらえたり、笑ったりする。そして、エンドロール

でたくさんの人たちの力をあわせて製作されたことを味わって照明がつき、外に出ると、いつもの街が少し違って見えてくる。映画館で映画を観るといふ行為は、旅に出ることとどこか似ているような…。「出町座」はそんな気持ちにさせる場所です。

映画との出合い

上掛 最近の私の趣味は映画で、映画館で観る作品に限っても年間100本ほどです。60歳からシニア料金(1100円)で観られるようになったのも大きかった(笑)。出町座の会員でもありますし、今日の対談はとても楽しみにしてきました。

映画との関わりは、旧「京都朝日シネマ」の会報に、イギリスの炭鉱夫一家を描いた

ジョン・フォード監督「わが谷は緑なりき」の思い出について書いたことからです。その後、相米慎二監督「夏の家」の原作者の湯本香樹さんと対談をしたり、配給会社からシンシア・スコット監督「森の中の淑女たち」を試写で観て映画評を書いて頼まれたり、福祉文化学会が『映画の中に福祉が見える』(中央法規出版、1994年)と

いう本を出したときに、「わが谷は緑なりき」とチャップリンの「ライムライト」について福祉の視点から読み解いて書いたこともあります。

田中さん 映画の出合いは、いつごろですか。

田中 それは子ども時代のことなので、はっきりとは思い出せませんが、大学時代は学内サークルの映画研究会に入ったり、当時開かれていた京都映画祭を手伝ったりしました。この映画祭の一部門として京都国際学生映画祭(※)

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談

映画を観ることは、知らない世界＝文化を経験すること	2
くらしの安全・防災の取組	
適格消費者団体・特定適格消費者団体・NPO法人消費者支援機構関西(KC's)総会・シンポジウム	7
適格消費者団体・NPO法人京都消費者契約ネットワーク(KCCN)総会・講演会	7
第49回京都消費者大会「消費者保護基本法制定50周年記念シンポジウム	

—すべてはここから始まった— 開催	7
京都府災害ボランティアセンター総会・全体研修会開催	7
平成30年7月豪雨にたいする京都の生協の活動	7
京都府生協連 第65回通常総会 開催	8
2018年国際協同組合デー 第29回京都集会	10
総会だより①	
●京都市ごみ減量推進会議 第22回通常総会	
●京と地球(アース)の共生府民会議 総会	
●京都地球温暖化防止府民会議 年次総会	11
ピースアクション京都2018	12

ヒバクシャ国際署名を大きくひろげる京都の会1周年「学習と交流のつどい」	13
総会だより②	
●京都労働者福祉協議会 第62回定期総会	
●KGPN 第15回総会	
●(一社)京都食品産業協会総会	13
京都府生協連 第27回「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」	14
おもな行事のお知らせ	14



制作・配給・劇場「出町座」支配人

田中誠一さん



京都府生活協同組合連合会 会長理事
(京都府立大学公共政策学部教授)

上掛利博

が始まったのが、ちょうど1回生のころです。当時、河原町三条にあった京都朝日シネマでアルバイトをしたり、野外演

劇の会場で1週間ぐらい野宿しながら記録担当をしたりして、学生時代を過ごしました。
※京都国際学生映画祭 関西圏

の大学生が中心となり企画・運営をおこなう日本最大の映画祭 1997年から開催され、京都府生協連も協賛している。

どんなに小さなまちでも、映画を楽しんでほしい

上掛 出町座の経営主体のシマフィルム株式会社は、舞鶴市と福知山市でも映画館をやっておりますね？

がとれないから参入しないのです。でも、そこに住んでいる人たちがいるのだから続けなければいけないということ

田中 もともと映画制作のために設立された会社で、本社は舞鶴市にあります。京都府北部は、映画を観る場がなく

で、うちの社長がもともとあった映画館の経営を高齢になった館主さんから引き受けることにしました。

く、福知山市や舞鶴市にはシネコン(※)すらありません。過疎化が進んで、大手は採算

上掛 大学院生のころ、福井県から敦賀市・舞鶴市をへて豊岡市まで地域調査に行っ

なぜ出町柳なのか？

上掛 出町座の前は、日本映画発祥の地(シネマトグラフの試写に成功)、木屋町で「立誠シネマ」を運営しておられましたね。惜しまれながら閉館されましたが…。

法が決まるまでの限定的なプロジェクトでした。
上掛 立誠シネマは、床がギシギシ鳴ったり、すきま風が入ってきたりと、なかなか味わいのある建物でしたね。

田中 もともと立誠シネマは、小学校の統廃合で使わなくなった立誠小学校の活用方

それを出町榊形商店街(鯖街道の終点)に移転したわけですが、なぜこの商店街を選ば

れたのですか？

たことがあります。指導教授から「映画館がいくつあるか調べる。映画館の存在が、地域の文化水準を示している」と諭されました。すでにそのころまでに映画館は次々に閉館していて(1960年ごろは全国に約7500館あったのが、80年代半ばには2000館ほどに)、とても残念に思った記憶があります。

※シネコン シネマコンプレックス(複数のスクリーンがある映画館)の略称。

田中 京都市内で新しく映画的な文化施設を立ち上げるとしたら、出町柳周辺がいいと考えていました。その最大の理由は、他の劇場のエリアとぶつからないということです。京都市周辺の場合、映画館の立地は四条通りとJR京都駅前と郊外のシネコンという横のラインしかなく、それより北のエリアには劇場は



存在しないので、棲み分けるには北に向かわないとバランスがとれないだろうと考えたわけです。

なおかつ、京都市の北東部は、市内でも文化的なエリアであるわりに、これまで日常的に映画文化を享受する場がありませんでした。だから、移転するなら出町柳のあたりだなと最初から決めていたのです。

上掛 このあたりは、同志社や府立医大、京大など大学も近いし、学生が集まる地域ですね(鴨川デルタ公園には、時代劇俳優「目玉の松ちゃん」こと尾上松之助の像も)。出町座に来るお客さんも、学生が多いですか？

田中 おそらく他のエリアに比べたら、学生さんの割合は多いと思います。でも、中高年の方も少なくありません

し、幅広い年代の方が来てくださいます。うちは会員制を採っていて、会員数は現在約

2000人です。これだけたくさんの方に通っていただけているのはありがたいことです。

文化の発信拠点として

上掛 出町座の1階にはカフェや書店が併設されていますが、そのメリットはいかがですか？

田中 もちろん、すごく感じます。というよりも、ここ

を設計する段階から、映画だけでなく多様な文化の発信拠点にしたいと思っていました。

上掛 古い映画のパンフレットが売られていて映画ファンにはうれいしいですし、映画に関する本もいろいろ置かれていて参考になりますし、楽しめます。さすがですね。

田中 一般書もありますが、映画の本の比率は他の書店に

比べると多いです。もちろん、上映中の映画に関連した本も並べます。映画を入り口にして、いろいろなことに興味を持っていただけたらうれいしいので。

上掛 3階はフリースペースで、脚本の書き方などの講義もされているとか？ 私も先日、映画鑑賞後の講演会に参加し面白かったです。

田中 立誠シネマのときから、映画人を育てる事業として「シネマカレッジ京都」をやっています、ここでも続けています。フリースペースですから、カレッジの講座以外にもギャラリーやイベント等に使っていただくことができます。

上掛 出町座ができてから、隣には古本屋さんができるなど、商店街全体が変化してきたと生協の組合員さんたちからも注目されています。

田中 この通りをよく歩い

ているおじさんに、「最近、ちゃんとした服を着てる若い子らがいるから、寝間着みたいな格好で歩けへんわ」と言われまして(笑)。そう言いつつ、そのおじさんは寝間着まがいの服で歩いていますが、この商店街には有名な和菓子屋さんもあるから、その豆餅を目当てに、ちゃんとした身なりの観光客やおしゃれな

服できめた若い人たちもたくさん来ます。そんな多様な人たちが歩きながら、商店街としてバランスがとれている。この状態はすごくいいと思うし、私は好きですね。私としては、この地域が活性化することが大切だと思っ

映画ファンから声をあげる

上掛 私は大学で福祉について教えているので、学生たちに「映画から学べるものがたくさんあるよ」と、いろいろな作品を紹介する関係でパンフレットも購入しています。ところが、最近のパンフレットはデザイン優先で、たとえば、白抜き文字で地色が水色とかオレンジ色だと、もう老眼鏡世代にはお手上げです。それに文字が小さくて読みづらい。読み手の立場に立った改善を切に願うのですが…。

す。だから、20代中盤から40代前半の世代をターゲットにした作品なら、パンフレットもその世代の感覚にフィットするように、ミニコミ誌やZINE[※]みたいなデザインにして、サイズも持ち歩きやすいようにコンパクトにする。一方、山田洋次監督の「妻よ薔薇のように 家族III」となると、パンフレットは大判サイズで、白地に黒く大きな文字で、読みやすくする。つまり、どんなパンフレットにするかはターゲット次第であって、ユニバーサルなデザインという発想で制作するのは非常に難しいこともあります。





とはいえ、若い世代をメインターゲットにした作品であっても、中高年の方々が観ないわけではないので、作品を届ける側は、どうすればそういう客層にも受容してもらえる

かを把握しておいたほうがいい。そのためにも、まずお客さんから声をあげたほうがいいと思いますね。
※ZINE 個人的に作られた少数の出版物。

口コミで広がる、地味な映画も大切に

上掛 上映作品は、田中さんがすべて選ぶのですか？

田中 そうです。

上掛 選ぶ際の選択の基準はありますか？

田中 もう、そのときのノリとしか言いようがないですね(笑)。ただ、映画史的な文脈で重要な作品もあるし、お客さんに支持されるだろうという作品もあるし、世界情勢のうえで大切な作品もあるの、それらのバランスをとろうと思っています。そ

うするには2スクリーンが必要で、うちはそれができませんから。

上掛 見逃した映画が、しばらく経って出町座で上映されることがあった、とても助かります(笑)。

田中 たとえば韓国映画「タクシー運転手 約束は海を越えて」もそうですね。この作品のように、中小規模の映画で、派手な宣伝もない作品は、口コミでじわじわ広がるパターンが多いのです。そう

いう作品は本来、封切りの時点でもっと上映されるべきなのですが、シネコンは最初の土日の動員数でその後何週やるのか、何回上映するのかを決めていますので、中小規模

映画館で映画を観る意味

の映画は上映回数がすぐに減ってしまいます。そうすると、観た人が「よかったよ」と周りに薦めた時点で、もう終了しているか、最終週に入っていることが多い。だから、う

ちが「やりましょうか」と手を挙げることになるわけです。やっぱり映画は、口コミがいちばん強いので、観た人が「よかったよ」と言ってくださるのが最も影響力がありますね。

上掛

最近、映画をインターネットで観る動画配信サービスや、宅配DVDレンタルなどもあつて、映画はもっぱら家で観るといふ人も多いようです。しかし、映画館には大きなスクリーンがあり、電話にも邪魔されない2時間が確保され、周りには同じ映画を観ている人たちがいて、家で観るのは違った楽しみがあります。それを学生たちにも味わってほしいのですが、映画館に足を向けてもらうにはどうすれば？

田中 映画館で映画を観る楽しさは、言葉で説明してもわかりにくいので、まずは体験してもらおうことがすごく大事です。それも幼少のころの体験として残っていないと、感覚的に映画館のよさがわからないから、おとなになつて

も映画館に行かないし、「同じ作品が観られるなら100円で借りて観たらいい」と思ってしまう。だから、決め手は子どものころに、おとなに手を引かれて、わざわざ暗闇のなかに連れていかれて映画を観た…という体験を持つているかどうかです。

若い人たちに「いちばん最初の映画館の記憶って何？」と聞くと、彼らの答えはほぼ「それともうひとつ、私が思うのは、街場の映画館とシネコンは同じなのか、それとも違うのかということです。そ



の答えはまだ出ていませんが、シネコンが日本に定着し始めて20年近くになりますから、いま二十歳前後の人たちはシネコンができたころに生まれてきた世代です。もし彼らにとってシネコンの印象が変わるようなことがあれば、街場の映画館との違いがもう少し明らかになるような気がします。

アメリカでも、ネット配信が当たり前になり、客も作品も人材もそちらに流れてしまったので、映画館に客を呼び込むために高音質や3Dや4Dなどでアトラクション的なやり方を追求してきました。

映画館で、知らない世界をのぞいてみよう！

上掛 「出町座」や「京都シネマ」「京都みなみ会館」など単館系の劇場は、会員制を採ったり、上映中の映画のチラシも出してくれたり（フィルムに保存して記憶にとどめています）と、細やかな気配りをして映画ファンを増やすことに貢献されていますし、それはひいては文化を育てることにつながっていると思います。これから文化を担って

でも、それも最近はかなり飽きられてきて、その反動で、小さくてもいいから自分たちで居心地のいいスペースとして映画を楽しめる場所をつくるうという動きが起こっているようです。

その意味では、あらためて映画館で映画を観る意味が問われているような気がします。し、映画の企画にしても、少なくともアメリカでは、制作費はあまりかからなくてもアイデアや熱意や手法に見るべきものがある映画のほうが、観客からも支持される例が増えています。

いく若い人たちに向けて、伝えたいことはありますか。

田中 だまされたと思って、とりあえず映画館に映画を観に来てほしいですね。特に学生は、自分の知らないことのほうが多いけれど、自分が認識していないこと、世の中に存在しないことではないので、世の中には自分が認識していないこともあるのだということを知って、「自分に合ってい

るかどうかわからないから、試しに行ってみよう」というスタンスで、映画館に来てほしい。知らない世界に触れてほしい。それで少し違うと思うたら、別のことに向かえばいいんです。

もちろん、自分の知っていること、興味のあることを深く究めることも大切ですが、それと同じぐらい、視野を広げて、未知の世界に触れることが大事だから、自分の価値観や自分の知っていることを信じすぎないほうがいいと思います。

上掛 その点では、大学生協が学生の読書をすすめるために「大学4年間で本を100冊読もう！」と呼びかけている「読書マラソン」にならって、「映画マラソン」を企画したらどうでしょうか？ 京都の映画館と大学生協が組んで、「大学4年間で映画を100本観よう」という取り組みができたなら、シネマ体験をする学生が増えると思うのですが…。

田中 それはいいですね。若いときに100本観たら、その後の人生はすごく違ってくると思います。それも、べつに出町座で観なくてもいいんです。たとえ



ば京都文化博物館のフィルムシアターは、すごく充実したアーカイブを持っていて、溝口健二や小津安二郎などはじめとした日本映画の名作群を所蔵していて、通年で様々な特集上映を組むなどしています。しかも、料金は学生で400円、一般でも500円です。だから、本当に利用したほうがいいと思いますね。

上掛 京都府が建てた文化博物館のフィルムシアターは、「学生のまち・映画のまち京都」の貴重な財産ですから、映画に関心のある人だけでなく一般の学生や府民にも広く知られて、もっと利用されるようになると良いですね！

今日は個人的にも関心のあるお話をうかがうことができ、とても楽しかったです。ありがとうございます。

(写真撮影・有田知行)

プロフィール 田中 誠一 (たなか せいいち)

出町座運営/プロデューサー (制作・配給) / シマフィルム株式会社所属。

●略歴

京都朝日シネマをはじめいくつかの劇場スタッフ (モギリ〜映写) を経験し、京都・大阪で自主上映企画を実施、映画祭運営、映画制作に携わる。関西の劇場公開映画の宣伝を請け負っていた頃、『おそいひと』の公開に携わったことを契機にシマフィルム入りし、『堀川中立売』(2010

年) 製作から始まるシマフィルムの京都連続シリーズ (『天使突抜六丁目』『太秦ヤコベッティ』) 製作に参加。また、映像制作ラボ Kyoto DU 主要メンバーとしても活動。2013年より元・立誠小学校を拠点に〈立誠シネマプロジェクト×シネマカレッジ京都〉事業を立ち上げ、番組の編成、イベントや講座の企画運営および現場責任者を担う。2017年、当事業を元・立誠小学校から移転し、〈出町座〉を立ち上げる。



適格消費者団体・特定適格消費者団体・NPO法人
消費者支援機構関西(KC's)
総会・シンポジウム



KC's差止請求検討委員長・
五條操弁護士

6月23日(土)、大阪府社会福祉会館で開催。約70人が参加し、提案された全議案が承認されました。

総会終了後のシンポジウムでは、「KC'sは消費者とともにどう活動するか」特定適格消費者団体の社会的役割について考えよう」をテーマに取り組み報告とグループワークがありました。差止請求検討委員長・五條操弁護士より「KC'sは差止請求制度をどう活用してきたか」差止請求11年の歩みから振り返る」をテーマに報告がありました。

京都府生協連・高取淳専務理事が理事をつとめています。

適格消費者団体・NPO法人
京都消費者契約ネットワーク
(KCCCN) 総会・講演会

5月22日(火)、京都司法書士会館で開催されました。同ネットワーク・野々山宏理事長が開会あいさつをおこない、石田郁雄理事が議長をつとめ、長野浩三理事・事務局長が議案提案。全議案が承認されました。

総会後の記念講演で「消費者問題と民法改正」と題して、法務省民事局付・脇村真治氏より報告がありました。2020年4月に施行される改正民法と消費者問題の関係について説明がありました。



法務省民事局付・
脇村真治氏

第49回京都消費者大会

「消費者保護基本法制定50周年記念シンポジウム」すべてはここから始まった」開催



と題して基調講演がありました。

パネルディスカッションでは、古谷由紀子氏をコメントーターに、パネラーは野々山宏氏(京都消費者契約ネットワーク理事長・弁護士)、川村幸子氏(京都生協副理事長)、村上直紀氏(「公社」消費者関連専門家会議「ACAP」理事)。コーディネーターは原強氏(NPO法人コンシューマーズ京都理事長[当時])がつとめました。

京都府災害ボランティアセンター総会・全体研修会開催

6月9日(土)、京都テルサ西館研修室で開催。2017年度事業報告・決算、監査報告と2018年度事業計画・予算について審議し承認されました。

全体研修会では、京都生協CSR推進室・上羽祐子マネジャーが「京都生協災害支援の取組み」と題して、被災地支援活動について報告しました。

古谷由紀子氏(日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会常任顧問、サステナビリティ消費者会議代表)より、「現代の消費者主権」事例を通して考える」

平成30年7月豪雨にたいする京都の生協の活動

7月5日(木)からの豪雨により、西日本を中心に各地に甚大な被害が発生しました。京都府生協連では、災害対策本部を立ち上げ、京都府北部の被害について、会員生協、日本生協連などからの情報を収集し情報共有につとめるとともに、京都府災害ボランティアセンター構成団体として活動支援をおこないました。「災害ボランティアバス」の運行では、ボランティアバスの電話受付に京都生協、生協生活クラブ京都エル・コップ、京都府生協連の役職員や委員が参加しました。



(左から) 電話受付をする
京都生協・川村幸子副理事長、
同・日比明子理事

京都府生協連 第65回通常総会開催

全議案を満場一致で可決、役員21人を選任

6月13日（水）、午後1時30分から京都府立社会福祉会館ハートピア京都で、「京都府生活協同組合連合会第65回通常総会」を開催しました。

今総会の代議員数は44人で、当日の出席は本人出席31人、書面出席13人でした。ご来賓をはじめ、82人の参加となりました。



開会あいさつをする
上掛利博会長理事



京都府府民生活部・大谷学部長
(京都府・西脇隆俊知事代理)



京都労働者福祉協議会・村岡和也事務局長
(京都労働者福祉協議会・橋元信一会長代理)

上掛利博会長理事が開会のあいさつをのべ、つづいてご来賓の京都府府民生活部・大谷学部長（京都府・西脇隆俊知事代理）、京都労働者福祉協議会・村岡和也事務局長（京都労働者福祉協議会・橋元信一会長代理）から、ご祝辞をいただきました。

酒向直之事務局長（当時）が、国会議員、各関係団体が、各生協からいただいた81通の祝電・メッセージを紹介しました。

提案されたすべての議案が、満場一致で可決されました。員外理事をふくむ18人の理事と3人の監事が選任されました。

2018年度の役員体制は左ページのとおりです



祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた

(敬称略・順不同・6月13日現在)

衆議院議員	泉 ケンタ	衆議院議員	井上 一徳	衆議院議員	木村やよい
衆議院議員	こくた恵二	衆議院議員	竹内 譲	衆議院議員	本田 太郎
参議院議員	二之湯 智	参議院議員	福山 哲郎	参議院議員	井上さとし
参議院議員	倉林 明子				
京都市長	門川 大作	京都府議会議長	村田 正治	京都市社会福祉協議会会長	村井 信夫
京都商工会議所会頭	立石 義雄	京都府農業協同組合中央会会長	中川 泰宏	京都府漁業協同組合代表理事組合長	西川順之輔
京都府森林組合連合会代表理事会長	青合 幹夫				

誰もが安心してくらせる 地域・社会づくりをめざして

～新・京都の生協の課題と
京都府生協連の役割～

京都の生協の5つの課題

① 生協の事業と活動の総合力を発揮し、生活の文化的・経済的向上をめざします
組合員の願いを大切に、ライフスタイルの変化にこたえ、それぞれの生協の強みを発揮して、「私の生協」と実感できる事業やサービス、活動の実現をめざします。

② 消費者市民社会の主人公として、よりよい社会づくりに貢献します
食の安全や消費のあり方を意識し、自立した組合員の協同の力で消費者市民社会の実現をめざします。健康づくりや、福祉の充実とくらしの安心、地球環境保全や食糧問題、消費者問題、男女共同参画の推進、平和・核兵器廃絶、憲法を守り、民主主義の実現に努力します。

③ 安心してくらせる地域経済・社会づくりをめざします
生産と消費の連携、地域包括ケアの取り組みやコミュニティの課題への参加など、さまざまな協同組合や地域の諸団体、行政との協同をつよめ、地域経済の再生・創造と、安心してくらせる地域社会づくりに貢献します。

④ 協同と連帯の力で活動を推進します
それぞれが持つ個性と強みをいかし、さまざまな分野の生協同士が協同と連帯をすすめる、さらに協同組合間協同を推進することで、組合員の願いを実現し、協同組合の価値をひろげます。

⑤ 組合員参加をひろげ、安定した事業と経営を確立します
組合員参加をひろげ、協同の力でさまざまなニーズにこたえるとともに、コンプライアンスと内部統制につとめ、安定した事業と経営の確立をめざします。

2018年度役職員体制 8月現在 (敬称略)

*印は新任

代表理事・会長理事	上 掛 利 博 (員外)
副会長理事	畑 忠 男 (京都生活協同組合理事長)
副会長理事	中 島 達 弥 (京都大学生協同組合専務理事)
代表理事・専務理事	高 取 淳 (員外)
常任理事	本 多 浩 (京都府庁生活協同組合専務理事)
常任理事	中 森 一 朗 (大学生協同組合関西陸事業連合専務理事)
*常任理事	田 中 とみ子 (乙訓医療生活協同組合専務理事)
*理 事	石 澤 春 彦 (京都高齢者生活協同組合くらしコープ専務理事)
理 事	岡 田 照 雄 (京都市民共済生活協同組合専務理事)
理 事	上 総 紫 香子 (生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ副理事長)
理 事	川 村 幸 子 (京都生活協同組合副理事長)
理 事	河 野 直 (京都生活協同組合常務理事)
*理 事	酒 井 克 彦 (立命館生活協同組合専務理事)
理 事	坂 本 真 有美 (生活協同組合コープ自然派京都理事長)
*理 事	清 水 泰 治 (京都医療生活協同組合専務理事)
理 事	堂 本 吉 次 (やましろ健康医療生活協同組合専務理事)
*理 事	藤 井 博 史 (京都工藝繊維大学生協同組合常務理事)
*理 事	山 本 克 彦 (全京都勤労者共済生活協同組合専務理事)
特定監事	長 誠一郎 (乙訓医療生活協同組合監事)
監 事	石 井 聡 (京都生活協同組合常勤監事)
*監 事	林 章 司 (京都府医府大生活協同組合専務理事)
(事務局)	
事務局長	九 鬼 隆 一
事務局担当	川 端 浩 子
事務局担当	岡 本 朋 子

今回退任された役員のみなさん

7月1日現在 (敬称略)

理事	大 森 俊 次 (京都医療生活協同組合常務理事)
理事	大 塚 正 文 (京都橘学園生活協同組合専務理事)
理事	杉 本 頼 正 (京都高齢者生活協同組合くらしコープ理事)
理事	谷 口 一 宏 (龍谷大学生協同組合専務理事)
理事	鯉 迫 裕 子 (同志社生活協同組合専務理事)



高取淳専務理事

当日は8人の代議員から、地域生協・大学生協・医療生協・職域生協、共済生協の活動について、8件の活発な発言がありました。
これらの発言をふまえ、高取淳専務理事が、「京都の生協がそれぞれの分野で組合員の要求にこたえて、旺盛に取り組まれていることが伝わる内容だった。これからも京都の生協が前進し続けるよう、京都府生協連もしっかり役割を果たしていきたい」と、まとめをおこないました。

発言者とテーマ



生協生活クラブ京都エル・コープ 木下美紀子 代議員

「こちそうフェスタについて」



京都生協 姜 美名 代議員

「レバクシャ国際署名の取り組み」



京都大学生協 前田 晴久 代議員

「京大生協での地産地消の取り組み推進 地域との連携強化の実践」



京都大学生協 坂本 竜樹 代議員

「生協学生委員会による健康増進企画 萬屋(Manya)の取り組み」



生協コープ自然派京都 平出 美和子 代議員

「国産オーガニックを上げよう」



やましろ健康医療生協 村松 秀一 代議員

「ちよこっと(福祉)相談」



全京都勤労者共済生協 大久保 寿 代議員

「全京都勤労者共済生協(全労済京都推進本部)2018年度推進計画について」



京都府庁生協 中村 知彦 代議員

「府庁生協の事業活動と課題」

京都府生協連の4つの役割

- ① 学びと交流
会員生協の共同の場にかかわり、生協同士がお互いに学びあい、はげましあえる交流と共同の行動をつよめます。
- ② 生協間の協同・連携
多様な生協間の協同と連携、職員や組合員の交流を推進し、あらたな取組みの創造をめざし、交流から、さらに提携できることを模索します。また全国の生協とつながり、共通する課題の取組みを推進します。
- ③ 行政・諸団体との連携
京都の生協を代表して、行政との連携、各界との意見交換の開催、各種協同組合や地域諸団体とのネットワークをひろげ、連携して組合員と消費者の願いを実現することをめざします。
- ④ 生協の姿を社会に発信し、理解をひろげる
京都の生協の事業や活動のさまざまな姿を社会(行政、報道機関、地域諸団体)に発信し、生協の視認性や認知度を高める活動を通して、生協の価値と存在意義への理解をひろめます。

2018年 国際協同組合デー 第29回京都集会

「新たな協同組合連携組織の誕生と京都の協同組合」をテーマに開催

2018年 第29

「新たな協同組合連携



京都府漁業協同組合・西川順之輔代表理事組合長が開会あいさつ

7月4日(水)、キャンパスプラザ京都で開催され、J A、J F、森林組合、生協から170人が参加しました。

国際協同組合デーは、毎年7月第1土曜日を、全世界の協同組合員が心をひとつにして、協同組合運動の発展を願い、平和とよりよい生活を築くために、運動の前進を誓い合う日として、1922年に制定されたもの。

京都では毎年、京都府協同組合連絡協議会(構成/J A 京都中央会・京都府森林組合連合会・J F 京都・京都府生活協同組合連合会)の主催で、記念集会企画を実施しています。

ことし4月に発足した新たな協同組合連携組織「(二社)日本協同組合連携機構(略称・J C A)」から講師をお招きし、日本の協同組合の取り巻く状況と課題、現状等について理解をすすめ、今日的な協同組合の価値・役割について考えることを目的に開催しました。



京都府森林組合連合会・住和宏課長

京都府森林組合連合会・住和宏課長が司会を担当。京都府漁業協同組合・西川順之輔代表理事組合長が開会あいさつをしました。

つづいて「J C Aの発足と協同組合間連携の強化について」と題して、(二社)日本協同組合連携機構(略称・J C A)協同組合連携部・前田健喜部長にご講演をいただきました。

参加者からは「J C Aの発足に至るまでの過程を知ることができた」「協同組合間連携の重要性を実感した」「J C Aには協同組合全体の発展

に向け、大いに期待しています」など多くの感想がよせられました。

各協同組合からは「協同組合の担い手が語る」と題した活動報告がありました。「4つの協同組合からの報告は、とても興味深い内容だった」

「それぞれの協同組合の取組みやご苦労がよく理解できました」などの感想がありました。さいごに、京都府生活協同組合連合会・上掛利博会長理事が「地域の特性とどう結びつくかが課題。さらなる協同組合の発展に尽力していきたい」と閉会のあいさつをのべました。



京都府生活協同組合連合会・上掛利博会長理事が開会あいさつ

総会だより①

京都市ごみ減量推進会議 第22回通常総会

6月6日（水）、御所西京都平安ホテルで開催されました。

京都市ごみ減量推進会議は、ごみ減量に関する意識の高揚を図るとともに、地域でのごみ減量に関する自主的な取組みを促進することを目的に、市民・事業者・行政の三者が自発性とパートナーシップを基本として、1996年に発足しました。

提案されたすべての議案が承認されました。事業計画では、ごみを減らす活動を基本に、地域のエコ化につながる活動をめざすという報告や、SNSの活用検討をおこなう等の報告がありました。京都府生協連では、高取淳専務理事を理事として派出しています。

京と地球（アース）の共生府民会議 総会

5月22日（火）、京都府庁第1号館会議室で開催されました。

京都府環境部・金谷宗子副部長より開会のあいさつがありました。平成29年度事業実績および収支決算について、平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）等についての、すべての議案が承認されました。事業計画では、活動の活性化をめざしたいとの報告がありました。その後、構成団体による活動状況・取組事例についての報告がされました。当会議は、京都府生協連を含む48の団体が構成されています。

京都地球温暖化防止府民会議 年次総会

6月29日（金）、ウイングス京都で開催されました。平成29年度事業報告、決算、平成30年度事業計画、予算等、すべての議案が承認されました。平成30年度の方針では、パリ協定の発効を受けて、ビジョンをこれまでの「低炭素型のステキな京都」から「脱炭素型のステキな京都」の実現に変更し、より活動を強化することをめざすこと。京都議定書採択から20周年にあたるという契機を活かし、情報発信等を広く展開すること等が報告されました。

総会前の関連セミナーは、「宅配便の再配達削減 京都における最新事情～CO2排出・労働環境の悪化…社会的損失を減らせ!～」と題して、京都府や京都市、京都市立高倉小学校PTA等から報告がありました。

《報告講演》

「JCAの発足と協同組合間連携の強化」

（社）日本協同組合連携機構
（略称：JCA）協同組合連携部

前田健喜 部長



『魂の伝承
～私達の役割とは何か～』

京都市農業協同組合
川岡支部青年部

端 清隆



「宮津湾における
ナマコ漁業と
資源管理の取り組み」

宮津なまこ組合

栗田 紘一



「綾部市森林組合での
取り組み」

綾部市森林組合

爲國 佑哉



「大学生協における『組合
員参加』の取り組み」

— 京大生協の取り組み紹介 —
京都大学生協同組合

中島 達弥



協同組合の担い手が語る

J A・J F・森林組合・生協から
活動報告がありました

ピースアクション京都 2018

6月21日(木)、京都府生協連のよびかけで
生協組合員約80人が、ピースパレードに参加



京都高齢者生協くらしコープ・水口武夫理事長、京都生協・川村幸子副理事長、全国大学生協連関西西北陸ブロック学生事務局
京滋・奈良エリア担当・小山結希菜さん、京都府生協連・高取淳専務理事、京都生協・畑忠男理事長が先頭をきって行進

京都府生協連のよびかけで、
京都生協・京都高齢者生協くらしコープ・大学生協などのほか、鳥取県の生協からの参加もあり、組合員・役員約80人が「今ある平和はわたしたちの未来をつくるのはわたしたち」『ヒバクシャ国際署名』を

6月21日(木)、「2018年ピースパレード京都」が取り組まれました。「平和と核廃絶の願いをもちより、広島・長崎での世界大会につながるよう」との趣旨ではじまった京都の生協のピースパレードは、今年で35回目をむかえました。



日本海コースの横断幕を持って



京都生協役員のみなさん

ひろげましょう！」をテーマに、街ゆく人びとに力づくよくアピールしました。
前日の雨も上がり、多くの観光客の中を祇園石段下から四条通り、河原町通りをすすんで、京都市役所へ。
全国の被爆者らが中心となつてすすめる「ヒバクシャ国際署名」への協力を呼びかける折り鶴や、英語・ハンゲル・中国語で署名を呼びかける用紙を配りながらの行進となりました。
パレードの出発を前に、円山公園内で出発集会が開かれました。

総会だより②

京都労働者福祉協議会 第62回定期総会

5月24日(木)、ラポール京都(京都労働者総合会館)で開催されました。

京都労働者福祉協議会(京都労福協)は、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくらう!」をスローガンに掲げ、行政や労働団体などの関係団体と連携し、勤労者福祉の向上などさまざまな活動を展開しています。提案された「2017年度活動報告・会計報告等」「2018年度活動方針・予算」「役員改選」等の議案すべてが承認されました。京都府生協連では高取淳専務理事を理事に派出しています。

KGPN第15回総会

6月28日(木)、コープ・イン・京都で開催されました。

全国グリーン購入ネットワークとの関係を整理したうえで団体の名称を京都グリーン購入ネットワークから変更し、あらたなロゴマークも決まりました。総会では2017年度事業報告・決算報告、役員改選の3議案がすべて承認されました。

KGPNは京都府・京都市・府内自治体・事業者・市民団体・個人が参加して「グリーン購入」の普及をとおしてより環境に配慮された社会になるように活動をおこなってるネットワークです。京都府生協連では、右近裕子生協活動推進専門委員を幹事として派出しています。

(一社) 京都食品産業協会総会

6月22日(金)、京都ホテルオークラで開催されました。

提案された第1号議案「平成29年度事業報告及び財務諸表承認の件」、第2号議案「平成29年度公益目的支出計画実施報告の件」などすべての議案が承認されました。

総会後に南極料理人・西村淳氏(第30次・第38次南極地域観測隊員)による「南極の食卓～みんなの知らない世界 南極越冬隊の軌跡～」と題した研修会がありました。

京都府生協連では、畑忠男副会長理事を理事として派出しています。



今ある平和はたからもの—未来をつくるのはわたしたち—
「ヒバクシャ国際署名」をひろげましょう!

2018年原水爆禁止国民平和実行委員会へのメッセージ

※抜粋

広島・長崎への原爆投下から73年を経て核兵器のない世界の現実にむけて大きな一歩をふみだしました。
昨年7月には、人類史上はじめて核兵器を違法とする核兵器禁止条約が採択され、12月には条約採択に貢献した国際NGO・核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)がノーベル平和賞を受賞し、核兵器のない世界をめざす市民社会と運動にとって歴史に刻まれる年となりました。
今年に入っても、4月には南北首脳会談、6月には米朝首脳会談が開催され、朝鮮半島の非核化や北東アジアの平和の共同体づくりの出発点となることが期待されています。「平和とよりよき生活」を掲げ、核兵器をなくすための取り組みを進めてきた生活協同組合としても心から歓迎するものです。
今、被爆者の皆さんとともに設立した「ヒバクシャ国際署名」を大きくひろげる京都の会」の取り組みは大きなひ

ろがりを見せています。
被爆者の「核戦争起こすな、核兵器をなくせ」「ふたたび被爆者をつくらない」という切実な願いにしっかりと向き合い、核兵器廃絶の転機となる年にしていきましょう。
京都の生協は、被爆者の皆さんとともに「ヒバクシャ国際署名」を大きくひろげ、戦争も核兵器もない平和な社会の実現に向けて、引き続きその役割を發揮してまいります。
平和行進の取り組みが、そのための力強い一歩となることを確認し、みなさまと一緒に、楽しく、そして声高らかに、平和と安全・安心な暮らしの大切さをより多くの京都府民にひびかせていきたいと思います。
2018年6月21日
京都府生活協同組合連合会
会長理事 上掛 利博

「学習と交流のつどい」

ヒバクシャ国際署名を大きくひろげる京都の会1周年
7月14日(土)、京都テルサで開催され、55人が参加しました。
主催は、ヒバクシャ国際署名を大きくひろげる京都の会(ヒバクシャ署名京都の会)。
核兵器禁止条約の採択から1年が経過しました。ヒバクシャ署名京都の会発足からも一年が過ぎ、日頃の活動の報告や交流の機会として開催されました。
7月14日(土)、京都テルサで開催され、55人が参加しました。
主催は、ヒバクシャ国際署名を大きくひろげる京都の会(ヒバクシャ署名京都の会)。
核兵器禁止条約の採択から1年が経過しました。ヒバクシャ署名京都の会発足からも一年が過ぎ、日頃の活動の報告や交流の機会として開催されました。



ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダー・林田光弘さん

京都府生協連 第27回「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」

～組織と事業のイノベーションによる協同組合のあらたな価値の発見・創造の場として～

テーマ 事業継続計画(BCP)策定のために

4月17日(火)、コープ御所南ビル会議室で開催し、役員17人が参加しました。

地震、水害等の自然災害や、事故事件等のさまざまなリスクから生協の組織と経営へのダメージを最小限に抑え、いち早く事業活動を継続するために、事業継続計画(BCP)の重要性が謳われています。BCPの整備状況については、会員生協によってさまざまであり、これから整備をすすめるようとする生協では「どんな



京都府生協連・高取淳専務理事

準備や作業が必要なのか」というところから学習したいとの声もあることから、BCP策定に向けて基礎から学ぶことを目的に開催しました。

京都府生協連・上掛利博会長理事が開会のあいさつをおこない、高取淳専務理事がコピデイナーをつとめました。まず、会員生協からの活動報告では、生協連大学生協



生協連大学生協関西西北陸事業連合・会員支援部・野尻郁智部長

西北陸事業連合・会員支援部・野尻郁智部長より、2018年2月に発生した、福井豪雪における大学生協の対応と今後の課題についての報告がありました。

続いて、生協コープ自然派京都・出口勇治センター長より、東日本大震災以降に見直された「BCPの取組み」報告がありました。

会員生協からの報告に続いて、日本生協連・総合マネジメント本部BCP・危機管理の田口典明部長から、日本生協連が策定した「BCP策定の手引き」をもとに講演がありました。



生協コープ自然派京都・出口勇治センター長

あらためて事業上のリスクを考えると、事業継続を実現するためのマネジメントが重要であること。BCPの策定にあたっては、重要な事業を中断させない、あるいは中断しても、復旧レベルを想定し必要な準備をおこなうことが大切であるとの報告がありました。また、取引先との連携も想定することが大切であり、そのことが取引先との信頼関係の強化にもつながるとのお話をいただきました。



日本生協連・総合マネジメント本部BCP・危機管理・田口典明部長

参加者からは、「横断的な取組みの重要性を理解しました」「マニュアル通りにいかなくても、さまざまな想定をしながら策定していくことが大切。臨機応変に対応できる人材育成も必要だ」「リスクについて考えるうえで、良い素材を学ぶことができた」との感想がありました。

おもな行事のお知らせ

2018年度京都府総合防災訓練
日 時：9月2日(日) 午前
会 場：主会場・綾部市総合運動公園他
※京都府生協連はJAグループとともに緊急物資搬送訓練に参加。

京都府協同組合

「第18回役員体験・交流学校」
主 催：京都府協同組合連絡協議会
(JA中央会・森連・JF京都・生協連)
日 時：9月13日(木) 13:30～14日(金) 13:00(予定)

会 場：京都生協洛南支部など
テ ー マ：「京都の生協活動について学ぶ(仮題)」

京都環境フェスティバル2018

主 催：京都環境フェスティバル実行委員会
日 時：12月8日(土)～9日(日)
会 場：京都府総合見本市会館(ハルスプラザ)
※京都府生協連は会員生協の環境商品、取組み紹介で出展予定。

きょうざれん第41回全国大会in京都
主 催：きょうざれん
日 時：9月21日(金)～22日(土)
会 場：国立京都国際会館

京都消費者問題セミナー
日 時：10月11日(木) 10:00～11:50

会 場：京都府立総合社会福祉会館
ハートピア京都

CO-OP

発行：京都府生活協同組合連合会 TEL075(259)1591
URL: http://www.kyotofu-seikyoren.com E-mail: kyotofu-seikyoren@mac.seikyou.ne.jp

〒604-0857 京都市中京区烏丸通一条上る時絵屋町258番地 コープ御所南ビル4階